

【10】 修得すべき知識能力

(2) 大学院

社会文化総合研究科

心理学コース

履修モデルA

国家資格である公認心理師資格の取得を目標としたモデルです。公認心理師の指定科目と医療機関等での実習を履修し、保健・医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働の各分野についての理論と実践を学びます。また、心理学研究法を身につけ、指導教員の指導のもと研究を実施し修士論文にまとめます。

主要科目 心理実践実習

特長 公認心理師資格取得に向け、将来、クライアントに寄り添う公認心理師として業務を行うため、心理的困難を抱える人々に対する倫理・実践について、学内外でのケース検討や実習を通して身につけます。

科目の目標 学内および学外における心理的支援のケースや実習場面を通じて、担当教員のスーパーヴァイズのもと、心理的支援の基本的姿勢や理論、技法を身につけます。

履修モデルB

心理学の修士論文作成に向けて、心理支援の理論と実践を学ぶとともに、心理学研究法研究法を履修し、指導教員の指導のもと、研究テーマの策定、先行研究の整理、研究の遂行をしていく研究中心のモデルです。公認心理師関連科目は必須ではありません。

主要科目 学校・教育分野に関する理論と支援の展開

特長 心理学研究者として必要な、倫理、心理学理論、心理的支援の実践について、少人数でのゼミ形式で、担当教員のきめ細かい指導により、研究手法や研究論文の作成方法を身につけます。

科目の目標 学校・教育分野における理論や心理的支援の実際について、各大学院生による持ち回りの文献発表や研究発表を行いつつ、教員によるきめ細かい指導のもと各自の研究を進め、学会発表や学会誌への論文投稿に積極的に取り組みます。

履修モデルC

生涯発達心理学的視点に立ち、発達障害や、子育て支援・児童虐待・家庭・保育・教育といった社会と深く結びついた課題に関して、専門的な心理支援を提供するために必要な力量とスキルの獲得を目指します。臨床発達心理士・学校心理士の申請資格の取得が可能です。

主要科目：臨床発達心理学

特長：発達の観点をもって人々の心理について理解する枠組みを提供します。「定型発達」と「障がい」を連続的にとらえるインクルーシブな観点、支援を必要とする人の生きる環境を重視する観点を大切にします。

科目の目標：発達や心理学の理論、発達の困難の様々な状態像についての基本的な最新の知識を得ます。具体的な事例について、理論的観点から整理し、発達心理学的観点から見た状態像を査定・支援するために必要な基本的な考え方やスキルを身につけます。